

# 令和6年度(第52回) 仙台市中学校新人大会ソフトボール競技 実施要項

1. 目的 仙台市中学校ソフトボール競技の向上と強化を目的とし、仙台市内の優秀なチームを選抜し、試合を通して精神力と競技力の向上を図る。
2. 主催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
3. 主管 仙台市ソフトボール協会 仙台市中学校体育連盟ソフトボール専門部
4. 会期 令和5年10月12日(土) , 13日(日) [予備日:10月14日(月)]
5. 会場 大沢中学校(2ブロック), 高森中学校(2ブロック)
6. 県大会出場枠 6校(各ブロック優勝校4校, 代表決定戦勝者2校)
7. 登録人数 選手18名, 監督1名, 引率責任者1名, コーチ1名の計21名以内
8. 競技規則 2024年オフィシャルソフトボールルールによる
9. 競技方法 4ブロックに分かれ, 各ブロックトーナメント方式で行う。各ブロック2位同士で代表決定戦まで行う。ただし, 3位決定戦は行わない。
10. 表彰 優勝校には優勝杯・賞状, 準優勝校には賞状を授与する。
11. 申し込み 令和5年9月3日(火) 抽選会のときに提出  
※申込書は, 仙台市中学校体育連盟のホームページから, 各校でダウンロードする。  
※合同チームの申請書は, 1週間前の令和5年8月27日(火)までに部会長に提出する。
12. 参加費 1チーム 6,000円(9月3日(火)抽選会にて徴収)
13. 抽選 令和5年9月3日(火)15時~ 仙台市立郡山中学校にて行う。
14. 諸会議 専門部会(抽選会) 9月3日(火)15時~ 仙台市立郡山中学校にて  
監督会議 10月12日(土)8時~ 各中学校会場  
※会場準備 10月12日(土)7時~ 各中学校会場  
表彰式 決勝戦終了後 ※開・閉会式は実施しない。
15. 大会規定
  - (1) 打順表は, 試合開始時刻30分前までに, 第2試合以降は, 前の試合の4回終了時に, 主将が当該球場審判主任に5部提出する。その際, 所定の用紙(5枚1組)に必要事項(登録選手全員)を記入し, 氏名に必ずふりがなをつけること。
  - (2) ベンチは, 組み合わせ番号の小さい方を一塁側とする。
  - (3) セラミック製および, 金属製のスパイクは禁止とする。
  - (4) 捕手は準備投球の時もスロート付きマスク, 捕手用ヘルメット, プロテクター, レガースを着用すること。捕手以外の選手が捕球するときは, スロートガード付きマスク, 捕手用ヘルメットを着用すること。監督, コーチが準備投球の捕手をする場合は, スロートガード付きマスクを着用する。また, 捕手用ヘルメットを着用することが望ましい。
  - (5) フィールドイングは後攻チームから行い, 5分以内とする。

- (6) 監督、コーチ、選手以外の試合の関与は認めない。また、引率責任者は試合に関して指導や助言を選手や監督に対して行うことはできない。
- (7) 抗議（プロテスト）は、監督に限る。
- (8) 試合球は、公認球ゴム製3号（ケンコーボール3号）を使用する。
- (9) 決勝・代表決定戦を含め、試合時間は80分とする。制限時間を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合はタイブレークを行い勝敗が決するまで行う。点差によるコールドゲームについては、オフィシャルルールに則る。
- (10) 原則として、試合時間の変更は行わないが、雨天、日没、不測の事態による試合時間の変更もありうる。
- (11) 選手または背番号の変更は、監督会議までとし、それ以後の変更は認めない。変更する場合、監督会議に新たに訂正した申込書（職印入り）とそのコピーを15部持参すること。
- (12) サスペンデットゲームを採用する。
- (13) ベースコーチは選手のみとし、ヘルメットを必ず着用する。

#### 16. 大会申し合わせ事項

- (1) 大会参加チームは、会場準備などを手伝うこととする。また、その日の最終チームは、会場片付けを手伝うこととする。
- (2) 選手は、中学生にふさわしい行動をとり、容儀・言動などマナーに十分留意すること。
- (3) 鳴り物による応援は禁止する。（メガホン、うちわ、ペットボトル等も含めて）
- (4) 大会中の不慮の怪我・傷病については、当該校で処置することとする。
- (5) 大会期間中の車両へのいたずらや事故には、大会本部は一切責任を持たない。
- (6) 試合が連続する場合は、原則として30分空けてからのベンチ入りとする。
- (7) 監督、コーチもユニフォームを着用し、ナンバーは、監督30番、コーチ31番をつけること。
- (8) ゴミはすべて持ち帰り、会場を汚さないこと。
- (9) 各チームで互いに大会補助員を出すこと。
- (10) 雷鳴があった場合は、試合を一時中断し、雷が鳴り終わってから20分後に試合を再開する。
- (11) 試合中にメガホンを使用できるのは、監督のみで1個だけとする。
- (12) 投手が投球姿勢（セット）に入り、投球が終了するまで、攻撃側・守備側ともに声出しや応援をやめ、静寂を保つこと。
- (13) 試合中の投球練習は、危険防止のため1組（内野→外野の向き）とする。また、危険防止のため、カバー役を1名投手側につける。
- (14) 大会1日目の監督会議の際に試合球を1球提出すること。
- (15) 雨天時は実施の可否を5時20分までに会場責任者が専門委員長に報告し、5時30分に会場責任者から各校顧問に連絡をする。